

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 28 日 (2009.5.28)

【公開番号】特開 2007-31437 (P2007-31437A)

【公開日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【年通号数】公開・登録公報 2007-005

【出願番号】特願 2006-203476 (P2006-203476)

【国際特許分類】

C 0 7 C 45/63 (2006.01)

C 0 7 C 45/81 (2006.01)

C 0 7 C 49/80 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 45/63

C 0 7 C 45/81

C 0 7 C 49/80

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 10 日 (2009.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

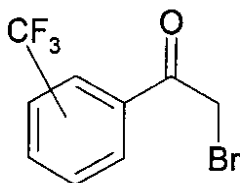
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I)

【化 1】

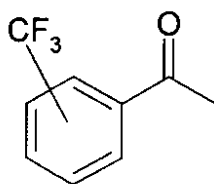


(I)

で表される臭化トリフルオロメチルフェナシル（芳香環は、任意選択で 1 種以上の同一または異なる基によってさらに置換されていてもよい）の製造方法であって、

任意選択で置換されていてもよい式 (II)

【化 2】



(II)

で表されるトリフルオロメチルアセトフェノンを、溶媒の非存在下に、または、水との相溶性が低からゼロである溶媒の存在下に、少なくとも 1 種の臭素化剤によって臭素化し、

臭素化後に得られた粗生成物から、任意選択で置換されていてもよい式 (I) で表される臭化トリフルオロメチルフェナシルを、 $-78 \sim +15$ の少なくとも 1 つの温度で、少なくとも 1 種の有機溶媒中で、結晶化させることを特徴とする方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

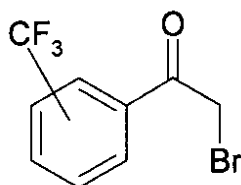
【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【化 1】



(I)

で表される臭化トリフルオロメチルフェナシル（芳香環は、任意選択で 1 種以上の同一または異なる基によってさらに置換されていてもよい）の製造方法であって、任意選択で置換されていてもよい式 (II)